

僕の演奏を聴いて、笑顔になり、癒やしを感じてくれたらいいな



トランペット奏者でハイノートヒッター（高音域を綺麗に正確に吹く）として名を馳せる、エリック・ミヤシロさん。どこまでも胸のすくようなトランペットの音色、特に高音の美しさには魅了されます。ソロ活動、自身がリーダーを務めるビッグバンドでの演奏、国内外の著名な音楽家とのコラボレーション、さらには大学で学生を教えるという多彩な活動はとどまるところを知りません。多忙な毎日にもかかわらず、ご本人からはとてもおらかな空気が感じられます。「僕は生まれも育ちもハワイなんですよ」との言葉に、なるほどと思ってしまうました。

日系アメリカ人でプロのトランペッターの父と日劇のダンサーだった日本人の母との間に生まれ、「も

の心つく前から音楽は体の一部分という感じ。父親を驚かせたくて一日中トランペットを吹き、中学生のころにはもう、将来はプロのトランペッターになろうと決めていた」と言います。でも、誰に教わることもなく演奏は独学。それでも高校生の時に全米の選抜バンドにハワイ州代表として選ばれ、その後、奨学金を得てボストンにある名門バークリー音楽院に進み、若くして本格的にプロとしての活動をスタートさせました。「そのころは憧れだったミュージシャンたちと一緒に演奏し、アメリカ中を演奏旅行することがただただ楽しかった。そんなある日、「休みがとれたのでおばあちゃんに会いに行こう」と来日。すでに有名人だったエリックさんは、ジャズクラブに行くたびに、「エリックだよね？一緒に演奏しないか？」と声をかけられ、「気が付いたら27年経っていました」と、笑います。

「音楽って生活になくても困りませんよね、でもベースデーソングだったり、ウエディングソングだったり、お祭りやお葬式も気が付けば周りに音楽があふれている。僕はいつも自分の音楽を聴いてくれる人が笑顔